



## 《報道発表》

## 親子が触れ合いコミュニケーションを育む空間を百貨店内へ提供 高島屋のキッズスペースをプロデュース 3/11(水)日本橋店、3/25(水)玉川店に誕生

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、親子一緒にごっこあそびなどを楽しめ、買い物の合間に一息つける場としても無料で利用できるキッズスペースをプロデュースしました。3月11日(水)に日本橋高島屋、3月25日(水)に玉川高島屋にそれぞれ誕生します。

※各あそび場の利用時間は高島屋店舗の営業時間に準じます。

今回のあそび場導入は、株式会社高島屋や大阪府堺市と協働し、昨年4月、堺高島屋に開業したあそびを核とした子育て支援施設「キッズサポートセンターさかい」整備・運営の実績が高島屋から評価され、実現に至りました。「こころ・頭・からだ」のバランスがとれた成長のためには、子どもを取り巻くあらゆる環境において豊かなあそび空間が必要である」という当社の考えに高島屋から共感いただき、今後も連携して、子どもからシニアまで幅広い世代が集う百貨店へのあそび環境導入を拡大していく予定です。

### 興味や発達段階に応じた2つのゾーン「キッズスペース」(日本橋高島屋 5階)

「キッズスペース」は、①0~2歳の赤ちゃん連れの親子がくつろげるスペース、②3~6歳のお子様で遊具で遊ぶことのできるキッズスペースの2つのゾーンから構成され、お子様の興味や成長段階に応じて楽しめる空間作りを目指しました。スペース外側には腰掛けられるベンチを設置し、保護者が子どもを見守りやすく、買い物の合間に気軽にご利用いただけます。デザイン面でも、日本橋という歴史ある文化、商業中心地にふさわしい上質感を大切にしたい意匠を施しました。



▲施設イメージ

### 大人も落ち着ける空間「ベビー休憩室」(玉川高島屋 5階)

玉川高島屋の「ベビー休憩室」は、柔らかいウレタン製マットの上を自由にハイハイでき、赤ちゃんが安心して遊べます。壁面は食べる、おもつを替える、遊ぶなど各コーナー別にビビッドな色分けとイラストが描かれ、子どものワクワク感を刺激する空間です。

ボーネルンドでは、子どもの健全な成長にはあそびは不可欠であるという考えのもと、子どもが自由に遊べる環境の社会インフラ化を目指しており、教育機関、ホテル、車のショールーム、病院など、これまで全国3万5千カ所にあそび場を提供してきました。少子化や公園の自由な利用の制限などで、遊ぶ環境が十分に整っているとは言い難い昨今、あそび場の導入は子どもの心身の発育を願う親や祖父母世代にとっても集客を誘引する要素となります。当社は今後も子どもの生活シーンにあそびの環境を創造し、子どもの健やかな成長に寄与してまいります。

### 【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して「あそびの道具と環境」を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての「あそび道具」を提案、全国86カ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千カ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国20箇所、年間243万人以上、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると全国32箇所、年間300万人以上の親子が訪れています。

### 《報道関係の方のお問い合わせ先》

株式会社ボーネルンド 広報室 担 当: 田中、村上 T E L: 03-5785-0860 / 080-5901-3591 E-mail: yuka-tanaka@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担 当: 五味淵、古澤、山口 T E L: 03-4580-9104 E-mail: bornelund@ml.prap.co.jp
《一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)》	
株式会社ボーネルンド TEL: 0120-358-518	